

タハタPJ：多様な働き方を促進する活動



あなたの会社も多様な働き方を目指しませんか

* 2019年第1回タハタPJ（障がい者）勉強会の模様

* 2019年第1回タハタPJ（障がい者）振り返り会の模様

タハタPJとは？

多様な働き方を促進するプロジェクト、略してタハタPJ。

少子高齢化時代は人手不足時代でもあります。一方で短時間なら働ける方々はいますし、今フルタイムで働いている人も、怪我や加齢などで、短時間でしか働けない日が来るかもしれません。現在の、そして将来の人財を失わないため、そろそろ短時間でも働ける職場を考えてみませんか。タハタPJでは、テーマ毎に中小企業の皆様がグループになって、短時間で働く人を理解する、職場体験してもらう、その学びや経験をノウハウとして共有していきます。

第1回タハタPJのテーマは「障がい者」。

愛媛県中小企業家同友会と共同で、2019年7月～11月に実施いたしました。

どんな活動をするのか？



こんな方にオススメ

- ✓ 就業規則に短時間制度がない
- ✓ 優秀な短時間勤務の社員が欲しい
- ✓ 1社で取り組むのはハードルが高い

今後は、年1～2回をめどに、活動していきたいと思います。
また「一緒に企画・運営したい」という方も募集中です。

タハタプロジェクトで今後、取り上げたいテーマ

障がい者

介護主婦(夫)
育児主婦(夫)

高齢者

引きこもり等
社会的弱者

[お問い合わせはこちら](#)

<https://matsuyamawork.com/contact/>